

研究に関するお知らせ

研究の名称：主膵管拡張を伴わない膵癌の臨床的特徴と予後への影響に関する
多施設後ろ向き観察研究

西暦 2024 年 12 月 20 日

横浜労災病院消化器内科では、下記の研究を当院倫理委員会の審査を経て病院長の許可のもと行います。この研究は条件を満たす患者さん全員を対象といたします。もし、この研究への参加を希望されない場合には、対象とはいたしませんので、お問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、診療を受ける上で不利益を被ることはございませんのでご安心ください。

■研究の対象となる方

2017年4月から2022年3月までに、膵臓癌と診断された患者さん。

■ご協力頂く内容

上記の対象期間中に診療録に記録された診療情報を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則り、個人情報 は 厳重に保護した状態で行います。

■研究の概要

研究の目的及び意義

主膵管の拡張は膵臓癌の拾い上げに重要な画像所見ですが、主膵管拡張を伴わない膵臓癌を経験することがあり、時に診断が遅れることがある。そのような主膵管拡張を伴わない膵臓癌の臨床的な特徴を明らかにすることで、膵臓癌早期診断のための診断戦略に関する貴重な情報を提供し、ひいては膵臓癌全体の治療成績改善につながる可能性があります。

研究の期間

倫理審査承認日～2025年12月31日

研究の方法

当院及び協力施設での院内がん登録から膵悪性腫瘍として登録された患者さんを抽出し、後ろ向きに解析します。患者背景、受診の理由、血液検査結果、画像検査結果、病理組織学的検査や治療予後などを検討します。

個人情報等の取り扱い

電子カルテシステムから抽出されたデータに、電子カルテを直接閲覧して得られた追加データを入力したのち、連結可能匿名化して解析を行います。

利益相反に関する状況

開示すべき利益相反は特にありません。

研究に関する情報公開の方法

医学に関する学会等にて発表し、最終的に論文とします。その際、データは個人が特定されない方法・内容に限るものとします。

■ 研究対象者等及びその関係者からの相談等への対応

本研究は既存の診療録情報を利用した後方視的疫学研究であり、対象者への文書や口頭によるインフォームドコンセント取得は困難であるため、相談に対しては個別に対応します。お問い合わせ先までご連絡ください。

■ 研究代表者および研究分担者

研究代表者：横浜労災病院 消化器内科 医師 関野雄典

■ お問い合わせ先

横浜労災病院 消化器内科 医師 関野雄典

〒222-0036 横浜市港北区小机町 3211

Tel.045(474)8111 (代表) ※平日 8時 30分～17時 00分